

殺菌剤

クミガード[®]SC

銅水和剤

銅剤をもっと、
使いやすく!



殺菌剤

クミカート[®] "SC

有効成分：水酸化第二銅… 20.0 % (銅として13.0 %) 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指す通称)

殺菌剤分類 M1

特長

- 薬液調製などの取り扱いが容易な、液状の水酸化第二銅剤です。
- 各種の作物病害に予防的散布で効果を示します。
- 優れた製剤技術により安定した防除効果を示します。

適用病害と使用方法

2026年2月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当たり 散布量	使用時期	本剤の 使用回数	銅を含む農薬の 総使用回数	使用方法				
ばれいしょ	軟腐病	8倍	1.6ℓ	発病前～発病初期	—	無人航空機による散布	散布				
		16倍	3.2ℓ								
てんさい	疫病	500倍	100～300ℓ								
にんじん	黒葉枯病										
あずき	褐斑細菌病										
だいず、えだまめ	紫斑病、葉焼病										
キャベツ	黒腐病										
はくさい、レタス類	軟腐病	500～1000倍	200～700ℓ								
たまねぎ	軟腐病、りん片腐敗病										
かんきつ	かいよう病、そうか病、黒点病										
ナメクジ類		1000倍	200～700ℓ								
りんご	すす点病、すす斑病、炭疽病										
ぶどう	べと病、さび病										
茶	炭疽病、もち病、赤焼病	500倍	200～400ℓ	発病前～発病初期	—	—	—				
				摘採前日まで							

△使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は長時間貯蔵しておくと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 無人航空機で散布する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって自動車の塗装などに被害を与えるおそれがある等、各分野に影響があるので、散布区域の諸物件に十分留意してください。
 - 散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。また、使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - 発芽期以降は薬害(スターーメラノーズ)を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実の着生時期の散布では厳守してください。
 - 樹勢の弱い木への散布や異常気温の予想される場合の散布はさけてください。
 - ぶどうに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用することをお勧めします。また、果房の汚れを生じるので、無袋状態での使用は注意してください。
 - りんごに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用することをお勧めします。また、サビ果が多くなるおそれがあるので、落花直後から落花後30日頃までは使用しないでください。
 - キャベツ、はくさいに使用する場合は、結球期以降の散布は薬害を生じるおそれがあるので、結球初期までに散布してください。

●適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△安全使用上の注意

- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：密栓し、直射日光を避け、食品と区別して冷涼な場所に保管してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。



本資料は2026年2月現在の見方に基づき作成しています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、水産動植物に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

2588(26-2)